



"世紀のダ・ヴィンチを探せ!"

高校生アートコンペティション2025

賞

ダ・ヴィンチ大賞 1点

学費全額免除(4年間)または、
(美術学科の場合632万円、演奏学科の場合761万円)
奨学金(500,000円)

金賞	初年度学費納入金免除 または、奨学金(300,000円)	部門別 最優秀賞	入学金免除または、図書カード(30,000円)
銀賞	初年度学費納入金免除 または、奨学金(200,000円)	短期大学部 特別賞	入学金免除または、図書カード(30,000円)
銅賞	初年度学費納入金免除 または、奨学金(100,000円)	大阪美術専門学校 特別賞	入学金免除または、図書カード(30,000円)
審査委員長賞	入学金免除 または、奨学金(100,000円)	特別賞	入学金免除または、図書カード(10,000円)

入選(二次審査通過作品)

図書カード(5,000円)

参加賞(入賞・入選以外)

図書カード(500円)

※初年度学費納入金免除とは入学金・初年度授業料・施設設備費です。

※奨学金には税金が含まれています。

※免除を希望される場合は、大阪芸術大学・大阪芸術大学短期大学部・大阪芸術大学附属大阪美術専門学校を受験し、入学する方に限ります。

※学費全額免除について大阪芸術大学短期大学部の場合は2年間、大阪芸術大学附属大阪美術専門学校の場合は2年間もしくは3年間となります。

※本学が給付する他の学費免除制度との併用はできません。

スケジュール

応募期間

2025年7月1日(火)～9月4日(木)

※17:00受付分まで

※締切直前はWEBサイトが混み合うことが予想されますので余裕をもってご応募ください。

9月中旬	Aタイプ	Bタイプ
↓	一次審査及び通過の通知 通過者のみ郵送にて通知します。 また、結果はWEBサイトにて確認できます。	
10月6日(月)	作品送付締切 一次審査を通過した方は締切日までに実物作品を送ってください。 作品が届かない場合は辞退とみなします。 ↓ 二次審査期間	一次・二次審査期間
↓	最終審査	
10月下旬	入選者発表 入選結果を郵送で通知します。 11月初旬になっても通知がない場合はWEBサイトにて確認してください。各賞は授賞式にて発表します。	
↓		
11月23日(日)	授賞者発表 11:00～授賞式(芸術劇場) 12:30～テープカット(芸術情報センター1F) 13:00～記念パーティー(30号館サロン)	
11月25日(火) ↓ 11月29日(土)	展覧会 10:00～16:00(日曜休館) 大阪芸術大学 芸術情報センター1F 展示ホール	
2026年1月以降	実物作品(Aタイプ一部除く)の返却について ※応募時に選択された自宅・高校いずれかの住所宛に着払いで送付します。急がれる場合や本学にて直接受け取りを希望される方はご相談ください。	

イタリア・ルネサンスの巨匠、レオナルド・ダ・ヴィンチは絵画や彫刻の作品はもちろん、建築や自然科学、音楽を通じ、「万能の人」「普遍の人」と呼ばれています。大阪芸術大学では「世紀のダ・ヴィンチを探せ」というスローガンの下、高校生を対象としたアートコンペティションを開催し、言語表現を含む様々な芸術ジャンルから作品を公募します。

応募資格

高校生

※2025年4月1日時点で高等学校・高等専門学校に在籍する生徒

※1人2作品まで

応募要項

○出品料は無料としますが、応募作品の送付にかかる費用は応募者負担とします。

○応募は個人のみとします。
(グループで制作した場合でも、代表者一名のみを受賞対象とします。)

○高校1,2年生が受賞された場合、賞品は卒業年次まで据え置きすることができます。

○応募作品は、他のコンペティションなどでグランプリにあたる賞を受賞した作品は除きます。

○応募時のアンケートで短期大学部を選択された方の一次通過作品は短期大学部にて展示します。入選以上の場合は、大阪芸術大学にて展示します。

○審査は本学教授陣等が行います。各賞は該当がない場合もあります。審査内容についてのお問い合わせはお断りします。

○二次審査のために送付されたAタイプの実物作品は、展覧会終了後に着払いにて返却いたします。基本的にBタイプの作品は返却しません。但し、返却を希望される場合はご相談ください。

○作品の取り扱いについては最善の注意を払いますが、万一の輸送中の事故や破損等について、主催者は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

○応募作品は応募者がすべての著作権を有している作品に限ります。

○応募作品の著作権は応募者に帰属します。主催者は審査結果の発表などのために、無償で上映、放送、複製、印刷、展示、WEBサイト等で公開が出来ることとし、応募者はこれを承諾するものとします。

○応募者は応募の時点で、応募要項に同意したものとします。著作権その他、規定に違反があると主催者が判断した場合には、応募・授賞の取り消し及び賞金などの返還請求を行うことがあります。

○応募作品の著作権等について第三者から異議申し立て、苦情などがあった場合、主催者は一切の責任を負わず、費用負担などを含め応募者がすべて対処するものとします。

個人情報の取り扱いについて
主催者は本コンペティションにおける個人情報保護の考え方を定め、これを守ることにより、個人情報の漏洩、流用、改ざん等の防止に細心の注意を払います。
詳細についてはWEBサイトでご確認ください。

応募部門・分野

Aタイプ

一次審査では作品の画像などによる書類審査を行います。
通過の通知があった方は送付締切までに実物作品を送ってください。
二次審査では実物による審査を行います。

美術部門
絵画 縦×横 各200mm以上、1620mm以内、重さ5kg以内
彫刻 縦×横×奥行 各500mm以内、重さ5kg以内

デザイン部門

ポスター

B1サイズ(縦1030mm、横728mm)

自由制作

縦×横 各200mm以上、1620mm以内

プロダクト

縦×横×奥行 各500mm以内、重さ5kg以内
※プレゼンボードの添付可

工芸部門

工芸 (素材は問わない)

立体作品の場合 縦×横×奥行 各500mm以内、重さ5kg以内
平面作品の場合 縦×横 各200mm以上、1620mm以内
※ファッション作品はボディ使用可

写真部門

写真

縦×横 各200mm以上、1620mm以内 (3分以内の動画も可)
※複数枚の組み写真の場合はレイアウトすること

建築部門

建築

図面・作品説明(A1サイズ以内)と模型(立体作品)を作成すること

キャラクター部門

キャラクター制作

A3サイズ以内で手描き・デジタルのどちらでも可
設定(キャラクター名と性格や時代背景など)を作品意図の欄に200字程度で明記

漫画

読み切り形式のストーリー作品をB4サイズ以内のマンガ原稿用紙に8頁～32頁で構成、扉絵(作品の表紙)にタイトルと作者名を入れる(表現上2頁目以降に入れてもよい)
※頁番号明記必須(頁番号は、表紙を1頁目とし、左右ページを並べた時の外側(小口側)の下に記入すること)

フィギュア

オリジナルのフィギュア作品画像(複数可)と、設定(キャラクター名と性格や時代背景など)を作品意図の欄に200字程度で明記
※過去1年以内に制作したオリジナルのフィギュア作品

アニメーション

5分以内の映像作品

Bタイプ

画像や動画などの作品データによる審査を行います。
(データ容量は300MBまで)

文芸部門
短編小説 テーマは自由とする。 ※WEBサイトにある指定フォーマットを使ってください。原則手書きは不可

映像部門

映画

短編映画、もしくは予告編(5分以内)

映像

特撮、アートアニメーション、ミュージックビデオ、PR映像など(5分以内)

芸術計画部門

イベント・アートの企画書

指定フォーマットを使って企画書を作成すること
※WEBサイトにある指定フォーマットを使ってください。原則手書きは不可

音楽部門

演奏(歌・楽器)

任意の楽曲の歌または演奏を収録した動画を作品とする(10分以内)
選曲に対する思いを作品意図の欄に200字程度で明記
※合奏の場合、応募者個人の出演部分のみを審査対象とするため、その個人を明記

作曲

作曲した楽曲の音源もしくは動画を作品とする(10分以内)
作品意図を 200 字程度で明記、楽譜がある場合は添付すること

舞台部門

演技／舞踊／ポピュラーダンス／短編戯曲

「舞台は世界を映す鏡」をテーマに作り上げた5分以上10分以内の動画作品、もしくは上演時間10分程度の短編戯曲(書式不問、400字詰め原稿用紙に換算した場合、15枚程度。)
※共演者等がいる場合、応募者個人の技術を審査対象とするため、その個人を作品意図欄明記

放送部門

映像／音声作品

ドキュメント、ドラマ、バラエティなどの、放送を想定した10分以内の「映像」または「音声」作品とする。
※詳細はWEBサイトをご確認ください。

アナウンス

「課題原稿(1分程度)」と、「自分の高校や地元を題材にした、オリジナルのニュース原稿(1分程度)」を続けて収録し、1つの作品とする。

縦型ショートドラマ

スマホで縦撮り(9:16)した、前編・後編の2話のショートドラマ。それぞれ90秒以内とする。
※応募する際は、前編・後編のファイルを、それぞれ別々に応募してください。その2話で1つの作品として扱います。

アートサイエンス部門

生成AIを使ったオリジナル作品

環境・ネットワーク社会の課題、または心の安らぎや精神的な豊かさの課題に対して、思いを伝える動画(1分以内)または静止画。
AI技術を活用しつつ、人の視点や創造性を融合させた表現をもとめます。